

第1回 総合計画前期基本計画評価市民懇談会 第3分科会 議事録

日時：平成23年12月2日（金）

午前：11時20分から

場所：市役所14階14C会議室

出席

- 1号委員 渡邊 弘委員，莊司弘樹委員，
- 2号委員 青木康世委員
- 3号委員 大塚正義委員
- 4号委員 佐藤竜一郎委員（欠席），鶴見智穂子委員

- 1 開会
- 2 自己紹介
- 3 基本計画における分野別計画の概要について（第3分科会所掌部分）
- 4 分科会の進め方について
- 5 その他
- 6 閉会

開会 午前 11 時 10 分

司会

大変お待たせいたしました。只今から、第 1 回 総合計画前期基本計画評価市民懇談会第 3 分科会を始めさせていただきます。

本来であれば、先ほど、分科会の会長、副会長の選出がございましたので、進行をお願いいたしますところでございますが、本日は、会長、副会長様を含めまして、委員の皆様のお顔合わせ、また、ガイダンス的な内容となりますので、大変、僭越ながら、私の方で進めさせていただきたいと存じます。それでは、早速、会議次第に従いまして、始めさせていただきます。まずは、委員の皆様から、自己紹介という形で、ごあいさつを賜りたいと存じます。

〔委員自己紹介〕

司会

委員の皆様、ありがとうございました。どうぞ、今後の分科会での審議につきまして、よろしくお願い申し上げます。続きまして、基本計画における分野別計画の概要について事務局の担当から、ご説明させていただきます。

事務局

【資料 1 に基づき説明】

司会

ご質疑等がございましたら、お願いいたします。

荘司委員

資料 1 の「戦略プロジェクト」というのはどのような位置付けになるのですか。

事務局

5 年間の前期基本計画において、重点的に取り組むべき事業等です。

荘司委員

施策や事業などの割り振りの中では事業に区分されるものですか。

事務局

施策的なものも一部ありますが、全体的には事業に近いものです。各分野の中で重要なものの中から、プロジェクトとして分野横断的に組み合わせたものです。例えば、計画書 82 ページに記載しており

ますが、基本構想で記載している重点課題に直結するようなイメージで作成しておりまして、子育て支援などは政策の体系と繋がっておりますが、92ページの「持続可能な都市」形成プロジェクトでは「もったいない宇都宮の推進」，「新たな資源化事業の導入」については環境の分野から入ってきておりますが、バイオマスなどは施策の位置付けでは農業の分野となっております。これらを多面的に捉え、課題を繋げるというつくりになっております。

莊司委員

計画書82ページの図を見ると下段に分野別計画がありますが、ここでは教育や経済の分野があります。それを総合的に取りまとめているということによろしいですか。

事務局

はい、主要な事業を分野横断的に取りまとめたもので、記載については事業に近い表現となっております。

大塚委員

施策の重要度は誰が判断しているのでしょうか。

事務局

これは毎年の市民意識調査結果によるものです。25の政策については満足度のみをアンケート項目として聞いておりますが、91の施策については、重要度と満足度の両方を項目として聞いております。

大塚委員

我々民間の会社で満足度50%となると大変低いレベルということになってしまうのですが、様々な市民がいらっしゃるの中で、満足度が50であれば良い数字という視点、目線でよろしいのでしょうか。

事務局

評価の方法につきましては、今後も検討していく必要はありますが、一定の目安として、行政の取組中でこういったものが重要かどうかということで評価をしているところです。

大塚委員

ラインの引き方によって議論が異なると思います。では、市民満足度が平均を越えていれば、良い

ということで理解してよろしいですか。

事務局

全体会の資料の３－２をご覧ください。平成２２年度時点では、９１施策の満足度の平均は２６％程度、重要度の平均としましては６７～８％となっておりますが、この捉え方としましては、取組の必要性が現れているのが重要度、取組の実績としてどうだったかという部分が満足度に現れているのではないかと考えております。

大塚委員

感覚的に、市民満足度２５％は極めて低いところにあるではないかと思いました。色々な市民がいらっしゃるということなのでしょう。

事務局

無作為抽出した約４，０００人の市民に共通して聞いておりますので、個人によって関心があるところとそうでないところ、また、知っているかいないかなどで差が出てしまうところがあります。福祉や教育などのイメージしやすいものは答えやすいようなのですが、産業や農業など、直接、市民個人に身近でないものについては、どうしても満足度が低くなってしまう傾向があります。

経済環境や社会情勢など、その年によって、回答の差異が出てきます。

莊司委員

アンケートを取る市民の対象にもよるのではないのでしょうか。教育や福祉などは厳しい結果が出てくるのです。

事務局

判断が難しいところがありまして、市の取組が悪いのか、周知の仕方が悪いのか、あるいは収束すべき事業なのか、といったことなども考慮しながら、次年度あるいは今後の取組につなげている状況です。

司会

それでは、続きまして、分科会の進め方について、ご説明させていただきます。

事務局

【資料２に基づき説明】

司会

説明については以上でございます。ご質疑等がございましたら、お願いいたします。

渡邊委員

確認ですが、分科会での議論は、施策の重要性や緊急性、施策を取り巻く環境がどうかなどが中心になってくると思いますが、それを議論するための資料はいつ頃いただけるのでしょうか。

事務局

中間総括評価表を12月中旬頃にご提供させていただきます。評価表のみですとわかりにくい部分があると思われますので、政策に係るデータ等については、参考資料として、関連するデータ集もご提供したいと考えております。

青木委員

関連データについて、この数字はどういう形で何人からいつ取ったのかというのを教えていただきたいです。誰を対象にしているか、何人を対象にしているのか、などが重要だと思います。

事務局

全てのデータは難しい部分がございますが、いつ、どういった形でデータを取ったかなどという基本的な部分は可能な限りお示ししたいと考えております。

青木委員

市民満足度について、満足度が50%の場合、調査対象が100人で結果が50%なのか、調査対象が1,000人で結果が50%なのかで全く変わってきます。そういうものがないと数字だけ見て判断してしまう恐れがあります。

鶴見委員

どのような人達に市民意識調査をしているか分からないと判断ができないと思います。

司会

市民意識調査の調査対象者等につきましても、後日、関連資料をご提供いたします。

それでは続きまして、次第の5 その他に入らせていただきますが、委員の皆様から、何かございますでしょうか。

司会

それでは、事務局から、次回分科会の開催についてお知らせいたします。

事務局

第2回分科会につきましては、2月7日（火）午前9時からとさせていただきたいと考えております。後日、改めまして、出欠等の確認をさせていただきたいと存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。

司会

それでは、以上をもちまして、第1回分科会を終了とさせていただきます。

本日はご多忙のなか、長時間に渡り、大変ありがとうございました。

閉会 午後 0時00分